

単元4 地球と宇宙

1

単元のねらい	観点別評価例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返る。 	<p>身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p>	<p>地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</p>	<p>地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

1章 天体の動き（7時間）

2

章のねらい	観点別評価例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 天体の日周運動の観察を行い、その観察記録を地球の自転と関連付けて理解する。 星座の年周運動の観察を行い、その観察記録を地球の公転と関連付けて理解する。 	<p>身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

時数	項目 〈項の目標〉	観点別評価例			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
21	太陽の1日の動き ◆2分野(6)ア(ア)㊦, イ 〈太陽の1日の動きの観察を行い、その観察記録から、太陽の1日の動きの規則性を見いだす〉	規 準	<ul style="list-style-type: none"> ★透明半球を使って太陽の1日の動きを調べ、適切に記録している。 ★太陽の1日の動きの規則性を理解し、太陽の動きとが地球の自転による見かけの運動であることを指摘することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 透明半球上の記録から、太陽の動きの特徴を考え、まとめ、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽の1日の動きについて興味をもち、透明半球を用いて太陽の動きを観察し原因を説明しようとしている。
		方 法	ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、レポート
		A 基 準	<ul style="list-style-type: none"> 透明半球の原理を理解し、正確に太陽の1日の動きを調べ記録することができる。 太陽の1日の動きの規則性を理解し、太陽の動きが地球の自転による見かけの運動であることを指摘することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 透明半球上の太陽の動きから、南中高度、南中時刻、日の出・日の入りの方位を指摘したり、一定の速さで太陽が動いている規則性を見いだし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽の1日の動きについて関心をもち、透明半球を用いて観察を行い、太陽の1日の動きの規則性を主体的に調べ、原因を探究しようとしている。
		B 基 準	<ul style="list-style-type: none"> 透明半球を使って太陽の1日の動きを調べ、正しく記録することができる。 太陽の1日の動きの規則性を理解し、太陽の動きとが地球の自転による見かけの運動であることを、地球上の方位の決め方の知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 透明半球上の記録から、太陽の動く向きや動いた距離などの特徴を考え、まとめ、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽の1日の動きについて関心をもち、透明半球を用いて太陽の動きを調べようとしている。

3	2 星の1日の動き ◆2分野(6)ア(ア)㉔, イ 〈星の1日の動きについて調べ、星空全体の動きの規則性を見いだす〉	規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・定点観察を行い、夜空の星の動きを記録をまとめてたり、天体シミュレーションソフトを使って、天体の動きを確認している。 ・東西南北のそれぞれの方位の星の1日の動く向きや角度と地球の自転との関連性について理解している。 	★星の動きの記録をもとに、星空全体の動きから規則性を考え、地球の自転との関連性をまとめ、表現している。	・星の1日の動きについて興味をもち、主体的に動く向きや角度を調べ、地球の自転との関連性を探究しようとする。
		方 法	ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、ワークシート
		A 基 準	<ul style="list-style-type: none"> ・観察によって星の1日の動きを正確に記録したり、天体シミュレーションソフトを活用したりして、色々な方位の星の1日の動きをまとめることができる。 ・東西南北のそれぞれの方位の星の1日の動く向きや角度を理解し、地球の自転と関連付けて説明することができる。 	・星の動きの記録をもとに、星空全体の動きから規則性を見いだし、地球の自転と関連させ、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・星の1日の動きについて関心をもち、夜空の星の観察を行い、星の動く向きや角度を調べ、星空全体の動きの規則性を意欲的に調べ、地球の自転との関連を探究しようとしている。
		B 基 準	<ul style="list-style-type: none"> ・夜空の星の動きを定点観察したり、天体シミュレーションソフトを使って、星の動きをまとめることができる。 ・東西南北のそれぞれの方位の星の1日の動く向きや角度と地球の自転との関連性について理解し、知識を身につけている。 	・星の動きの記録をもとに、星空全体の動きから規則性を考え、地球の自転との関連性をまとめ、表現することができる。	星の1日の動きについて関心をもち、動く向きや角度を調べ、地球の自転との関連を考えようとしている。
2	2 天体の1年の動き ◆2分野(6)ア(ア)㉕, イ 〈四季の星座の移り変わりや太陽の1年の動きを調べ、それらを地球の公転と関連づけてとらえる〉	規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の公転と四季の星座の移り変わりの関係を、地球儀などを用いてモデルとして調べている。 ・四季による星座の変化が地球の公転によることを理解し、知識を身につけている。 ・太陽は天球上を西から東に1年で1周することを理解し、知識を身につけている。 	・季節によって見える星座が変わることを地球の公転と関連づけて考え、まとめることができる。	★四季の星座の変化に興味をもち、四季の星座の変化や太陽が星座の間をどのように動くか、地球の公転と関連づけ、科学的に探究しようとしている。
		方 法	行動観察、ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、ワークシート
		A 基 準	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の公転と四季の星座の移り変わりの関係を、地球儀などを用いてモデルとして調べ、記録し、まとめることができる。 ・四季による星座の変化や、太陽が星座の間をどのように動くかを理解し、地球の公転と関連付けて説明することができる。 	・星座の位置が毎日少しずつ変化し、季節によって見える星座が変わる規則性を見いだし、地球の公転と関連づけて、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・なぜ季節によって見える星座がちがうのか疑問をもち、話し合いを主体的に行い、四季の星座の変化や太陽が星座の間をどのように動くか、地球の公転と関連づけ、科学的に探究しようとする。
		B 基 準	<ul style="list-style-type: none"> ・四季の星座の移り変わりについて、地球儀などをモデルとして調べることができる。 ・四季による星座の変化や天球上の太陽の動きが地球の公転によることを理解できる。 	・季節によって見える星座が変わることを地球の公転と関連づけて考え、まとめ、表現することができる。	・四季の星座の変化に関心をもち、四季の星座の変化や太陽が星座の間をどのように動くか、地球の公転と関連させて調べようとする。

方法…評価方法 A基準(十分満足できる。) B基準(おおむね満足できる。) ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・太陽の南中高度の変化の観察を行い、その観察記録を地球の公転や地軸の傾きと関連付けて理解する。</p> <p>・月の観察を行い、その観察記録や資料に基づいて、月の公転と見え方を関連付けて理解する。また、金星の観測資料などを基に、金星の公転と見え方を関連付けて理解する。</p>	<p>身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、季節の変化、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>季節の変化、月や金星の運動と見え方について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見だして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>季節の変化、月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

参考：国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』

時数	項目 〈項の目標〉	観点別評価例		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	<p>1 地球の運動と季節の変化</p> <p>◆2分野(6)ア(ア)㉑, イ</p> <p>〈太陽の南中高度の変化の観察を行い、その観察記録を地球の公転や地軸の傾きと関連付けて理解する〉</p>	<p>規 準</p> <p>★太陽の光があたる角度のちがいと温度変化の関係を調べ、結果を正しく記録している。</p> <p>★季節による太陽の南中高度や昼夜の長さの変化は、地球の公転と地軸の傾きが原因であることを理解し、知識を身につけている。</p>	<p>・季節による太陽の南中高度や昼夜の長さの変化は、地球の公転と地軸の傾きが原因であることを見いだそうとする。</p>	<p>・季節によって太陽の南中高度や昼夜の長さ、光の強さが変化することに関心を持ち、その原因を調べようとする。</p>
		<p>方 法</p> <p>行動観察、ワークシート、ペーパーテスト</p>	<p>ワークシート、ペーパーテスト</p>	<p>行動観察、ワークシート</p>
		<p>A 基 準</p> <p>・実験の原理を理解し、太陽の光があたる角度のちがいと温度変化の関係を調べて記録し、データをまとめることができる。</p> <p>・季節による太陽の南中高度や昼夜の長さの変化は、地球の公転と地軸の傾きが原因であることを説明することができる。それぞれの季節の南中高度を計算によって求めることができる。</p>	<p>・季節による太陽の南中高度や昼夜の長さの変化は、地球の公転と地軸の傾きに関係があることを見だし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</p>	<p>・なぜ季節によって太陽の南中高度や昼夜の長さ、光の強さが変化するのか疑問を持ち、日常生活や自分の考えをもとに主体的に話し合いを行い、その原因を意欲的に探究しようとする。</p>
		<p>B 基 準</p> <p>・太陽の光があたる角度のちがいと温度変化の関係を調べ、まとめることができる。</p> <p>・季節による太陽の南中高度や昼夜の長さの変化は、地球の公転と地軸の傾きが原因であることを理解し、知識を身につけている。</p>	<p>・季節による太陽の南中高度や昼夜の長さの変化は、地球の公転と地軸の傾きが原因であることを考え、まとめ、表現できる。</p>	<p>・季節によって太陽の南中高度や昼夜の長さ、光の強さが変化することに関心を持ち、その原因を調べようとする。</p>
3	<p>2 月の運動と見え方</p> <p>A 月の形と位置の変化</p> <p>B 日食・月食</p> <p>◆2分野(6)ア(イ)㉒, イ</p> <p>〈月の観察を行い、その観察記録や資料に基づいて、月の公転と見え方を関連付けて理解する〉</p>	<p>規 準</p> <p>★日没直後の同じ時刻に、月の見える位置や満ち欠けのようすを観察し、その結果を正しく記録している。また、モデルを使って月の満ち欠けを確かめようとする。</p> <p>★月の見える位置の変化や満ち欠けが月の公転によって起こることを理解し、日食・月食について、その原因などの知識を身につけている。</p>	<p>★月の満ち欠けなどの見え方について月の公転と関連付けて考え、まとめ、表現している。</p> <p>★太陽・月・地球の位置関係から、日食・月食の起こる原因について考え、まとめ、表現している。</p>	<p>・月の満ち欠け、日食・月食などについて興味を持ち、月の運動と見え方などについて調べようとする。</p>
		<p>方 法</p> <p>ワークシート、ペーパーテスト、スケッチ</p>	<p>ワークシート、ペーパーテスト</p>	<p>行動観察、ワークシート</p>
		<p>A 基 準</p> <p>・日没直後の同じ時刻に、より多く、月の見える位置や満ち欠けのようすを観察し、その結果をスケッチやデジタルカメラなどさまざまな方法を使って正しく記録することができる。また、モデルを使って月の満ち欠けをきめ細かに確かめることができる。</p> <p>・月の満ち欠けや見える位置の変化を理解し、月の公転と太陽・月・地球の位置関係で説明することができる。</p>	<p>・月の満ち欠けなどの見え方について、月の公転と太陽・月・地球の位置とを関連づけ、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。</p> <p>・太陽・月・地球の位置関係から、日食・月食の起こる原因について自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。</p>	<p>・月の満ち欠け、日食・月食などについて関心を持ち、月の運動と見え方などについて、月の公転との関係を探知しようとする。</p>

	B基準	<ul style="list-style-type: none"> 日没直後の同じ時刻に、月の見える位置や満ち欠けのようすを観察し、その結果を記録することができる。また、モデルを使って月の満ち欠けを確かめようとする。 月の満ち欠けや見える位置の変化は月の公転が原因であることを理解し、知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 月の満ち欠けなどの見え方について、月の公転と関連づけて考え、まとめ、表現している。 太陽・月・地球の位置関係から、日食・月食の起こる原因について考え、まとめ、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 月の満ち欠け、日食・月食などについて関心をもち、月の見え方や公転のようすについて調べようとする。
	支援	<ul style="list-style-type: none"> 日没直後の同じ時刻に、月の見える位置や満ち欠けのようすを観察し、記録できるように指導する。 月の満ち欠けや見える位置の変化は月の公転が原因であることを図やモデルで示して説明し、理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 月が地球のまわりを公転することによって、月の満ち欠けなどの見え方が変化することを、図やモデルで示しながら考えさせる。 日食・月食の起こる原因について、太陽・月・地球の位置関係から、モデルやシミュレーションソフトを使って考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 月の満ち欠けがどのように起こっているか、資料やシミュレーションソフトを使って説明し、興味・関心を喚起させる。
23 惑星の運動と見え方 ◆2分野(6)ア(イ)㊟, イ (金星の観測資料などに基づいて、金星の公転と見え方を関連付けて理解する)	規 準	<ul style="list-style-type: none"> 金星の見える位置や時刻を観測し、その結果を記録することができる。また、モデルを使って金星の見え方の仕組みを確かめようとする。 太陽、地球、金星の位置の関係から金星の見える方角や時刻、形の変化について理解し、知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽、地球、金星の位置関係による、金星の見える位置や時刻、形の変化を考え、まとめ、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ★金星の見え方に興味をもち、見える方角や時刻、満ち欠けについて調べようとする。 ★月の動きと見え方を振り返り、金星の見え方が変化する理由を確かめようとする。
	方 法	ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、ワークシート
	A 基 準	<ul style="list-style-type: none"> 月日の経過にともなう金星の見える位置や時刻をより多く観測し、その結果を記録することができる。また、モデルを使って金星の見え方をきめ細かに確かめることができる。 太陽、地球、金星の位置の関係から、金星の見える方角や時刻、形の変化について理解し、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽、地球、金星の位置関係による、金星の見える方角や時刻、形の変化について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 金星の見え方に関心をもち、見える方角や時刻、満ち欠けについて意欲的に探究しようとする。 月の動きと見え方を振り返り、金星の見え方が変化する理由を主体的に探求しようとする。
	B 基 準	<ul style="list-style-type: none"> 金星の見える位置や時刻を観測し、その結果を記録することができる。また、モデルを使って金星の見え方を確かめようとする。 金星の見える位置や時刻、形の変化について理解し、知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽、地球、金星の位置関係による、金星の見える位置や時刻、形の変化を考え、まとめ、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 金星の見え方に関心をもち、見える方角や時刻、満ち欠けについて調べようとする。 月の動きと見え方を振り返り、金星の見え方が変化する理由を確かめようとする。

◆学習指導要領の内容

方法…評価方法 A基準(十分満足できる。) B基準(おおむね満足できる。) 支援…基準に達しない場合の支援 ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・太陽の観察を行い、その観察記録や資料に基づいて、太陽の特徴を見いだして理解する。</p> <p>・観測資料などを基に、惑星と恒星などの特徴を見いだして理解するとともに、太陽系の構造について理解する。</p>	<p>身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽や惑星などの太陽系、銀河系や宇宙の広がりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>太陽や惑星などの太陽系、銀河系や宇宙の広がりについて、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。</p>	<p>太陽や惑星などの太陽系、銀河系や宇宙の広がりに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

時数	項目 〈項の目標〉	観点別評価例			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
2	<p>1 太陽のすがた</p> <p>◆2分野（6）ア（イ）㊦、イ</p> <p>〈太陽の観察を行い、その観察記録や資料にもとづいて、太陽の特徴を見いだして理解する〉</p>	規 準	<p>・天体望遠鏡を安全に操作して太陽黒点の観察を行い、結果を記録することができる。</p> <p>・太陽の表面のようすや特徴、太陽の自転について理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>★黒点の継続観察記録から、太陽が球形で、自転していると考え、まとめ、表現している。</p>	<p>・太陽の表面のようすについて興味をもち、天体望遠鏡を用いて観察を行い、資料などにもとづいて、太陽の表面の特徴について調べようとする。</p>
		方 法	行動観察、ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、レポート
		A 基 準	<p>・天体望遠鏡を適切・安全に操作して太陽黒点の観察を行い、黒点の動く向きなど、結果を記録することができる。</p> <p>・太陽の表面のようすや特徴、太陽の自転について理解し、さまざまな太陽の活動を説明することができる。</p>	<p>・黒点の継続観察記録から、太陽が球形で、自転していることと関連づけ、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</p>	<p>・太陽の表面のようすについて関心をもち、主体的に話し合いをしようとする。また、天体望遠鏡を用いて観察を行い、観察記録や資料などにもとづいて、太陽の表面の特徴について意欲的に探究しようとする。</p>
		B 基 準	<p>・天体望遠鏡を操作して太陽と黒点の観察を行い、結果を記録することができる。</p> <p>・太陽の表面の特徴、太陽の自転について理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>・黒点の継続観察記録から、太陽が球形で、自転していると考え、まとめ、表現している。</p>	<p>・太陽の表面のようすについて関心をもち、天体望遠鏡を用いて観察を行い、資料などにもとづいて、太陽の表面の特徴について調べようとする。</p>
5	<p>2 太陽系のすがた</p> <p>3 生命の星 地球</p> <p>4 銀河系と宇宙の広がり</p> <p>◆2分野（6）ア（イ）㊦、イ</p> <p>〈観測資料などをもとに、恒星と惑星の特徴を見いだして理解するとともに、太陽系や銀河系の構造、宇宙の広がりについて理解する〉</p>	規 準	<p>★縮尺モデルで、惑星の大きさや太陽から惑星までの距離を調べようとする。</p> <p>★太陽系の恒星、惑星、衛星、すい星などの天体の特徴、銀河系の構造について理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>・太陽系の広がりや惑星の位置関係や太陽系の恒星、惑星、衛星、すい星などの天体の特徴を考え、表現できる</p>	<p>★太陽系について興味をもち、太陽系の広がりや、太陽系の天体の種類や特徴について調べようとする。</p> <p>★銀河系と宇宙の広がりについて興味をもち、銀河系の天体の種類や特徴、宇宙の広がりについて調べようとする。</p>
		方 法	行動観察、ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、レポート
		A 基 準	<p>・縮尺モデルで、惑星の大きさや太陽から惑星までの距離など太陽系の広がりをきめ細やかに調べることができる。</p> <p>・太陽系の恒星、惑星、衛星、すい星など、より多くの天体の特徴、銀河系の構造について理解し、説明することができる。</p>	<p>・惑星の大きさや太陽から惑星までの距離を表し、太陽系の広がりや惑星の位置関係を見だし、表現することができる。</p>	<p>・太陽系について関心をもち、太陽系の広がりや、太陽系の天体の種類や特徴について意欲的に探究しようとする。</p> <p>・銀河系と宇宙の広がりについて興味をもち、銀河系の天体の種類や特徴、宇宙の広がりについて意欲的に探究しようとする。</p>
		B 基 準	<p>・縮尺モデルで太陽系の広がりや惑星の位置関係・大きさを調べることができる。</p> <p>・太陽系の恒星、惑星、衛星、すい星などの天体の特徴、銀河系の構造について理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>・太陽系の広がりや惑星の位置関係や大きさを考え、表現できる。</p>	<p>・太陽系について関心をもち、太陽系の広がりや、太陽系の天体の種類や特徴について調べようとする。</p> <p>・銀河系と宇宙の広がりについて興味をもち、銀河系の天体の種類や特徴、宇宙の広がりについて調べようとする。</p>

方法…評価方法 A基準（十分満足できる。） B基準（おおむね満足できる。） ★…重点評価項目

探究活動 季節の変化を調べよう（2時間）

ねらい	観点別評価例		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 天体の日周運動の観察を行い、その観察記録を地球の自転と関連付けて理解する。 太陽の南中高度の変化の観察を行い、その観察記録を地球の公転や地軸の傾きと関連付けて理解する。 	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転、季節の変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	天体の動きと地球の自転・公転、季節の変化について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。	天体の動きと地球の自転・公転、季節の変化に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

参考：国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」

時数	項目 〈項の目標〉	観点別評価例			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
2	季節の変化を調べよう ◆2分野（6）ア（ア）㊦㊧、イ 〈この単元で学習した内容をもとに、課題発見、計画立案、分析解釈、振り返りなどを行い、課題解決の過程を通じた探究活動を身に付ける〉 〈国や地域によって季節の変化が違うことを理解する〉	規 準	<ul style="list-style-type: none"> 北半球、南半球、緯度の違いで太陽の動きや太陽光の当たり方が変化することをモデルを使って調べようとしている。 北半球、南半球、緯度の違いで、季節の移り変わりが違うことを理解している。 	★北半球、南半球、緯度の違いによる太陽の動きや太陽光の当たり方について考え、まとめ、表現している。	★国や地域の違いによって、季節の移り変わりが違うことに興味を持ち、課題を設定し、これまで学習したことを振り返り、その原因を調べようとする。
		方 法	行動観察、ワークシート	ワークシート	行動観察、レポート
		A 基 準	<ul style="list-style-type: none"> 北半球、南半球、緯度の違いで太陽の動きや太陽光の当たり方が変化することをモデルを使って工夫をしながら、きめ細やかに調べる記録することができる。 北半球、南半球、緯度の違いで、季節の移り変わりが違うことを理解し、その理由を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 北半球、南半球、緯度の違いによる太陽の動きや太陽光の当たり方について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国や地域の違いによって、季節の移り変わりが違うことに興味を持ち、課題を設定し、これまで学習したことを振り返り、主体的に計画を立てその原因を探究しようとする。
		B 基 準	<ul style="list-style-type: none"> 北半球、南半球、緯度の違いで太陽の動きや太陽光の当たり方が変化することをモデルを使って調べることができる。 北半球、南半球、緯度の違いで、季節の移り変わりが違うことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 北半球、南半球、緯度の違いによる太陽の動きや太陽光の当たり方について考え、まとめ、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国や地域の違いによって、季節の移り変わりが違うことに興味を持ち、その原因を調べようとする。

方法…評価方法 A基準（十分満足できる。） B基準（おおむね満足できる。） ★…重点評価項目